

小杉駅周辺地区新設小学校学校名及び通学区域に関する聴聞会 記録

【日時】平成29年8月24日（木）18時30分～19時20分

【場所】西丸子小学校 環境学習室

【出席者】

＜西丸子小学校＞

伊東校長（議長）、石田教頭（司会）

＜教育委員会事務局（以下「市教委」という。）＞

野本室長、渡辺担当課長（教育環境整備推進室）、古内課長（企画課）、久保課長（学事課）、
小林担当課長（学校教育部）、辻担当課長（健康教育課）

【出席者】8名

【聴聞事項】

1 学校名について

教育委員会事務局から資料1に基づき説明

2 通学区域について

教育委員会事務局から資料2に基づき説明

＜質疑応答＞

●特例措置について新5年生と新6年生との提案だが、推計資料を見る限り、当初の3年間は最高でも18クラスで学校規模としては問題ないと思います。西丸子小学校に慣れている子どもたちのことを考えると、特例措置の対象を拡大または選択制を採用する等の対応をしてほしいです。

＜市教委＞

新設校の通学区域を設定するにあたり、新設校と隣接している学校の増加対策という意味合いもある中で、各校の将来的な学校規模も見越した形で設定しており、原則としては、通学区域として指定した場合は、対象の児童は全学年が新設校に通学していただくこととなります。しかし、これまで開催した保護者説明会等において在校生に対する措置を検討してほしいという要望をいただいた中で、高学年についてはまとめの学年であり、それまで構築してきた友だち関係、5年生での自然教室、6年生での修学旅行等の団体での活動等が実施されることを考えると特例措置を設定し、一定の配慮をすべきとの結論とさせていただきました。

●現在、幼稚園・保育園の年長の児童は、1年間西丸子小学校に通学し、友だちも出来て学校生活にも慣れていることが想像できます。そのような状況において、対象地域だからという理由で、2年生から新設校に通学することになるというのは、高学年同様に配慮すべきではないでしょうか。児童の増加対策は十分理解しますが、児童や保護者の立場で選択肢を増やしてほしいです。

＜市教委＞

個々に様々な状況があるのは理解していますが、小杉地区周辺の児童増加の状況や先ほども御説明させていただいたとおり、特に高学年については、小学校生活が残りに少ない中で友だちや先生とこれまで築いてきた関係等は考慮すべきだろうとの判断をさせていただきました。

●高学年ばかり配慮し低学年への配慮は検討もしていないように感じています。これまでの説明会等をとおして現在、年中の保護者の方々から同様の質問はなかったですか。

<市教委>

小杉町2丁目・3丁目地区の未就学児保護者向けの説明会においては、学校運営に対するご質問を中心にいただきました。

●新生が学校生活に慣れたところで新たに新設校に通学することは、子どもたちにとって負担が大きいと思います。再考してほしいです。

<市教委>

検討させていただきます。

●在校生が新設校に通学することになることは負担が大きく保護者も心配しています。再度、柔軟な対応を検討してほしいです。

●特例措置案が採用された場合、高学年の規模が小さくなることが想定されるが、どう考えていますか。

<市教委>

特例措置案をふまえた上での意向調査は行っていませんが、現状は2校合せて5年生60名、6年生49名が31年の開校時の対象人数です。

●事前のアンケートをふまえると95%の児童が既存の学校に残りたいと答えています。この結果から高学年は数名になるのでしょうか。

<市教委>

アンケートは通学区域検討当初に行ったものです。今後、改めて通学区域や学校運営等をふまえて意向確認を行っていきたいと思っています。

●低学年・中学年は新設校に通学してもらうとのことですが、対象となる児童へのケアの方法等については、これまでの説明会等において説明がなされていないと認識していますが、どのような方策を検討しているか教えてください。

<市教委>

他都市の分離新設された小学校を視察した際に、6年生が9名で開校した学校の校長にお話を伺いました。その学校でも高学年が少ないことを懸念していたようですが、少ないことでそれぞれが責任ある役割を担う機会がふえ下級生の牽引役となったそうです。また、近隣の小学校と連携して行事を行ったりすることなどを通して人数が少ないことを補ったと伺っています。さらに、新設校が開校する場合には通常、1年前に開校に向けた準備室を立上げ教育目標や行事等の検討を始めますが、その一つとして心のケアの重要性も認識しています。このケアの担当部署は総合教育センターという部署になりますが、連携を取りながら対応について検討を進める必要があると思っています。また、私は元教員で児童の気持ちも十分に理解していますが、低学年の子どもたちには適応力も備わっていることを実感しています。保護者の方々をはじめ不安はあると思いますが、我々と共に新設校の歴史を作っていってほしいと思っています。

●これまで挙げた質問や意見に対する回答をしてほしいです。

<市教委>

HP等で回答いたします。

以上